



広報

なんこく

発行：発行／南国市広報委員会
〒783 南国市大塚中2901 ☎083-2111

市制施行30周年記念号

1989
10/25
2532



市制施行30周年

まほろばに 夢が羽ばたく 南国市



市民英知を結集し

わたしたちの南国市は



ふるさと南国市は、昭和34年10月1日、市民の皆さんが夢を託らせて市制を施行、幾多の変遷を経て、今、壮年にさしかかる三十路を迎え、第二の景都にふさわしい風格を備えた市勢の発展をみるにいたりました。これもひとえに市をこよなく愛する市民の皆様のだゆまぬ努力と、ご指導、ご援助のたまものであり、衷心から厚くお礼申し上げます。

市議会は市制30周年を記念して議会史を発刊しました。変貌の激しい今日の地域社会の中にあつて、議会の果たす役割はますます重要なものとなってまいりました。そのような中で、先輩議員の功績で地方自治の中心となってきました議会の貴重な記録も、ともすれば忘れられ、時とともに散逸しがちであることから、議会の歩みを確かな形で記録にとどめ、過去から未来への指針になればと考へております。先輩議員の意を受け継ぎ、これを契機に決意を新たに、いっそう健全な議会の確立に力を尽くし、民意の伸張に貢献していく所存であります。

世紀2100年まで後10有余年であります。新しい世紀へ今羽ばたかなければなりません。その目標は各般にわたる市民福祉の向上を図り、新しい市政の峰を築くこととあります。48,000市民のご指導とご支援、ご協力をいただき、市制30周年を節目に更なる発展のために歩みを進めてまいりたいと存じます。

市議会議長 門田 益治



祝賀会

今後のさらなる発展を

満30歳になりました



それぞれ貴い伝統にはぐくまれた個性と誇りを持つ15カ町村が紆余曲折を経て一つの自治体となり、ここに30周年を迎えました。

わが南国市は、北に山を負い、南に海を臨み、農業発祥の地と言われる穀倉地帯の中央部に位置しており、市民はこの地を土佐のまほろばと呼んで天と地に感謝し、郷土を礼讃してきました。

近年は、高知空港があることによって空の玄関と言われ、また高知自動車道のインターチェンジがあることで陸の玄関にたとえる人もいます。更に、国道、バイパス、広域農道、沿岸地帯を東西に走る黒潮ライン等、交通、輸送網は日を追って密度を加えています。21世紀を間近に控えて刻々と変転していく世相に「かんがみ」、私たちは第1次産業に依存してきた田舎都市から、豊かさを求める市民のニーズに応じて、第2次産業の振興、誘致に努め、産業都市の性格を持つ郷土へと盛り立てていく使命があると存じます。

百尺竿頭すべからく一步を進めるならば、幸い当市には幼稚園から大学まで、各段階、各種の教育機関が揃っているため、古い文化の遺風を掘り起こし、学園都市あるいは文化都市の性格をも兼ね備えた調和のとれた近代都市の建設ができないものか、私たちの大きな使命の一つに21世紀に役立つ人材の育成があるのではないかと考えております。30周年を迎えるにあたり、市民各位の旧来に増してのなおいっそうのご指導、ご後援を賜うることができれば幸いに存じます。

市長 小笠原 喜郎



市長表彰

30周年記念事業

市制施行三十周年を契機に、これまでの市の歩みを振り返り、未来に向けての「人づくり、まちづくり」を考えよう、市民の皆さんの積極的な参加を得、市民の翼やまほろば祭りなどの記念事業が行われました。

七月二十二日には大塚小学校を主会場に、夢とコマンの市民の祭典「土佐まほろば祭り」が開かれました。舞台での歌や踊り、ビンゴ大会、会場周辺の絵馬街道、そしてファイナレを飾った吾岡山からの二千三百発の打上花火。会場を訪れた人は二万人にも上り、ぜひ来年も続けてほしいという声も上がっています。



土佐のまほろば祭り



ひとづくり

ファイナル・イベントとして十月十五日に行われた「土佐日記船出まつり」。平安時代に土佐の国司として赴任してきた紀貫之が帰京するときの旅日記をしのび、平成の海に船出。

紀貫之や女官の乗る王朝船を中心にした十隻の船では和歌の即興も行われるなど、一千余年の昔へタイム・スリップ。海岸の釣り人も、突然の平安絵巻に驚いた様子でした。



土佐日記船出まつり



市民参加のもとで 今後につながる



市民の翼

二十一世紀は国際化の時代。真の国際化はまず互いの国との相互理解から。八月二十四日から四泊五日の日程で、百五十五人が韓国を親善訪問をした「市民の翼」。



岩沼市・南国市青年市民会議

まちづくり研究交流会



五月二十六日、記念事業のトップをきって、姉妹都市岩沼市と南国市の青年市民会議による「まちづくり研究交流会」が行われました。

互いの市が抱える課題点や夢を熱心に語り合ったメンバーは、その後の交歓会や視察の間につきかり意見交換。今後幅広くつき合うことを約束するなど、新たな市民レベルでの姉妹都市交流のページが開かれました。

以上の記念事業のほか、自主参加事業として、農協訪問駅伝競争大会、高知県理容製菓士会、詩吟大会、文化祭、NHK「おかさ」の勉強室、公開録音、NHK「つるの散歩道」公開録音などを実施。

また、市の盛や市民の表情を鮮やかに記録した映画「南国市」と観光映画「土佐のまほろば南国市」の製作、市の今昔を伝える写真集「レトロ南国」、「南国市議会史」の発刊も行われるなど、これからの発展の基礎づくりの年となりました。

座談会

南国市の発展を 考える

- ◇司会◇
藤本茂樹 広報委員長
- ◇出席者◇
古谷栄幸 農業（稲田）
別役敏子 市連合婦人会長
末政隆一 青年市民会議会長
溝淵正喜 漁業（系改田）
山本 桂 農業（十市）

産業の活性化に

重要なのはPR

司会 南国市の発展を考えると
いうことで皆さんにお集りいた
だきました。今は夢でもいず
れ実現するかも知れません。大
いに夢を語っていただきたいと
思います。

末政 今一番考えているのは、
農業と商業が一体になるという
ことです。今までは交流があり
ませんでしたが、お互いの発展
を考えていくようにということ
を目的に、4月クラブ、市農協
の青壮団部、商工会の青壮部が
新しい団体を作って活動してい
こうと取り組んでいます。

地の利を生かした

例え、今取り組んでいる成
農米についても、商業ベース
に乗せれば高く売れることもでき
ますが、お互いに意識のずれが
あって、話し合いの場がなか
な



か持てない状況だったのです。
司会 十市は果樹栽培が盛んで
すが、山北みかんや針木のなし
のように、十市の果物を売り出
すことはできませんか。

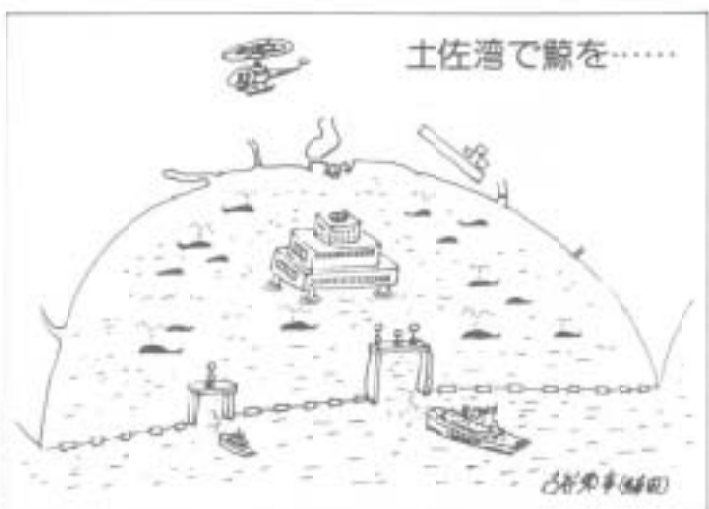


現状に甘んじるな

一つのものを通一して作らない
という欠点がありますね。
溝淵 市場は量が多とあって安
定的に供給することを求めている
ので、それでは市場から信用
されてしまいました。

されません。特産品の形成には
安定供給が必要です。
司会 最近まワイン作りが盛ん
ですが、十市のブドウでワイン
作りをしては、
山本 需要が少ないのではない
でしょうか。
溝淵 ワインの蔵出しの時期に
なるとその町に人が集まる例も
あります。そこでは町がワイン
を飲む店を経営し、土産として
も売っています。

いつも現状に甘んじるなど言
っています。私達は常に消
費者のニーズに応えるような方
向を追求していかなければなり
ません。
古谷 ちよっとしたヒントでは
つとめるような結果になること
があります。それには、人の集
まるところに行くことです。そ
のようなヒントは、人が集まる
情報交換の場に行くといういろ
得られるのです。
末政 人に、特に若者に集まっ
てもらえる場所を造るようにし
ていかなければならないのでは
ないでしょうか。
山本 先日、農業青年と独身女
性の交流を目的に、社交ダンス
を行いました。場所は民間の
施設を借りなければなりません
でした。あのような交流の場が
もっとあればと思います。
別役 そうですね。もっと若い



土佐湾で鯨を……

人が利用できる場所があっても
いいですね。
溝淵 現在、文化会館の構想が
進んでいます。文化会館とい
う考え方は、もう進んでいます。
今は国際会議ができる会場をと
いう方向に流れが進んでいます。
文化会館はハード面ですが、そ
れに伴う人づくりを並行してや
っていかないといい建物にでき
ても利用できないという事態に
なりかねないのではないでしょ
うか。場所については、どこで



あっても交通を
なんとかすれば
利用できます。
ましてや今は既
社会なのですか
ら。
末政 文化会館
には駐車場が不
可欠です。松山
市のように市が
経営する大駐車
場を持つように
しなければなら
ません。例えば
空港をどこか山



活気あるまちに

古谷 空港は物部川の上に高架
にして造ればどうでしょうか。

人が集まれば

活気生まれる

の奥にでも移せば、跡地に文化
会館でも体育館でも建設でき
し、駐車場も広くとれるのです
が。



ます。
別役 周りに土地はあるのです
から、そういう施設ができれば
いいですね。
末政 設備があれば利用者は市
民に限らずたくさんいると思
います。
山本 十市に球団を呼ぶ話も一
時出たことがあります。
溝淵 春野町の西武球団でも言
えるように、球団が来れば知名
度が上がります。

古谷 空港もインターもあり、
地の利は南国市が一番いいので
すが、それを外にとられてしま
っています。
久礼田付近は湿地です。それ
を池にして鯨を飼うという夢を
子供のころから持っています。

イルカの淡水養殖は現在行われ
ているので、できないことはな
いと思います。真中に塔を建て
て釣をしたり、眺めたりとい
うのはどうですか。
司会 餌付けをして餌い頼らし
てもいいですね。鯨がいつでも
泳いでいるとなれば観光客は来
ると思います。
古谷 室戸から尾指まで、鯨が
逃げないような電波を出しても
おもしろいですね。
溝淵 これからは、体験できる
という観光資源を考えていかな
ければならないと思います。が、
南国市の中にキャンプなどがで
きる人工のサバイバル島、子供
ランドを造ってはどうかでしょ
うか。今の子供たちは、遊びとい
ってもファミコンのようなもの
で、自然に親しむ機会がないの
です。自分たちで釣をした
り野菜をとったりするのもいい
のではないのでしょうか。
また、水上スキーやサーフィ
ンなど、マリンスポーツはこれ
からも伸びていくと思います。
これから余暇が増えるので
すから、設備が整えば人は集ま
ります。通過点ではなく、人々
が訪れる街になってもいい
ですね。

わがまち30年のあゆみ

昭和34. 10 後免町など5か町村が合併して南国市が誕生
岩村の一部を分離、伊達野を南国市に編入

11 第1期市議会議員選挙が行われる
35. 4 日章飛行場が第2種空港高知空港に指定される
36. 2 市章を制定
12 第1回南国市美術展を開催
37. 4 県立高知東工業高等学校が開校
5 南国市農事放送農業協同組合が発足
38. 1 第1回農協訪問駅伝を開催
3 瓶岩小学校を久礼田小学校に統合

昭和45. 6 重症心身障害児施設土佐希望の家が落成
6 特別養護老人ホーム土佐清風園が開園
5 市内10農協が合併、南国市農業協同組合がスタート
12 宮城県岩沼市と姉妹都市提携

新市庁舎が完成
南国市民憲章が制定される
48. 4 南国市土地開発公社が発足
49. 4 土電電車後免・安芸線が廃止される
11 第1回南国市文化祭を開催
50. 10 南国市社会福祉センターがオープン
12 県下9市で初めて助役2人制がしかれる

昭和56. 10 高知医科大学付属病院が開院
57. 4 高知県中央木材団地が完成し、15社で操業が開始される
12 高知空港にジェット機が就航
59. 4 県立岡豊高等学校開校
60. 2 南国市総合開発計画が策定される
10 南国市史談会が発足
61. 7 大篠女学院が開校
9 浦戸湾東部流域下水道事業開始
11 比江工業団地でミロク機械㈱が操業開始
62. 3 南国市議会の議員定数を削減、27名になる
4 南国市商工会館が落成
11 高知自動車道開通



昭和38. 7 第1回南国市体育大会が開催される
39. 4 国立高知工業高等専門学校が高知市よりの移転
42. 5 「南国市歌」を「南国おどろ」を決定
6 市民体育館が落成
10 岡豊、久礼田、白木谷、黒滝中学校を統合、北陵中学校が開校
43. 4 南国市消防署が発足
44. 4 第1回市民賞の表彰式が行われる
44. 4 南国バスバス高須・物部間が開通
10 市制施行40周年記念式典を挙げる
45. 4 南国市観光協会が発足
5 都築紡績㈱高知工場が操業を開始

昭和51. 5 第1回南国市演芸大会が開催される
53. 3 黒滝小学校が閉校
第1回南国市物産まつりが開催される
4 国立高知医科大学が開校
54. 1 南国市農事放送農業協同組合が解散
9 市立図書館が開館
市制施行20周年記念式典を挙げる
市の木「ヤマモモ」、市の花「タチバナ」、市の鳥「オオカド門」を制定
10 前浜保育所と南部保育所を統合して大湊保育所がスタート

55. 10 高知空港整備拡張工事着工
56. 5 第1回南国市民学校が開講

昭和63. 3 阿佐線の起工式が行われる
5 身体障害者療養施設「国府寮」が開園
8 潮見台ニュータウンの高知市編入を決定
11 岡豊山で歴史民俗資料館の起工式が行われる
平成元. 3 県道春野一赤岡線（黒潮ライン）南国地区全線開通
財団法人南国市開発公社が解散
吉岡山の切り取り工事が完了し、日本セメント㈱から南国市へ寄贈される
10 市制施行30周年記念式典を市民体育館で挙げる

